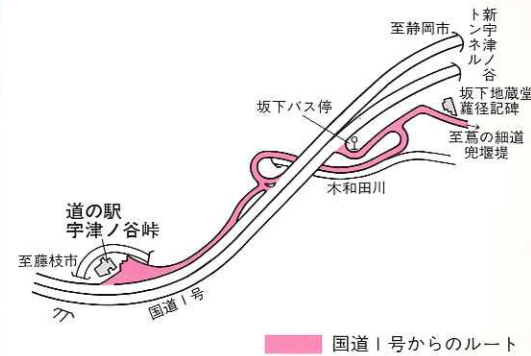


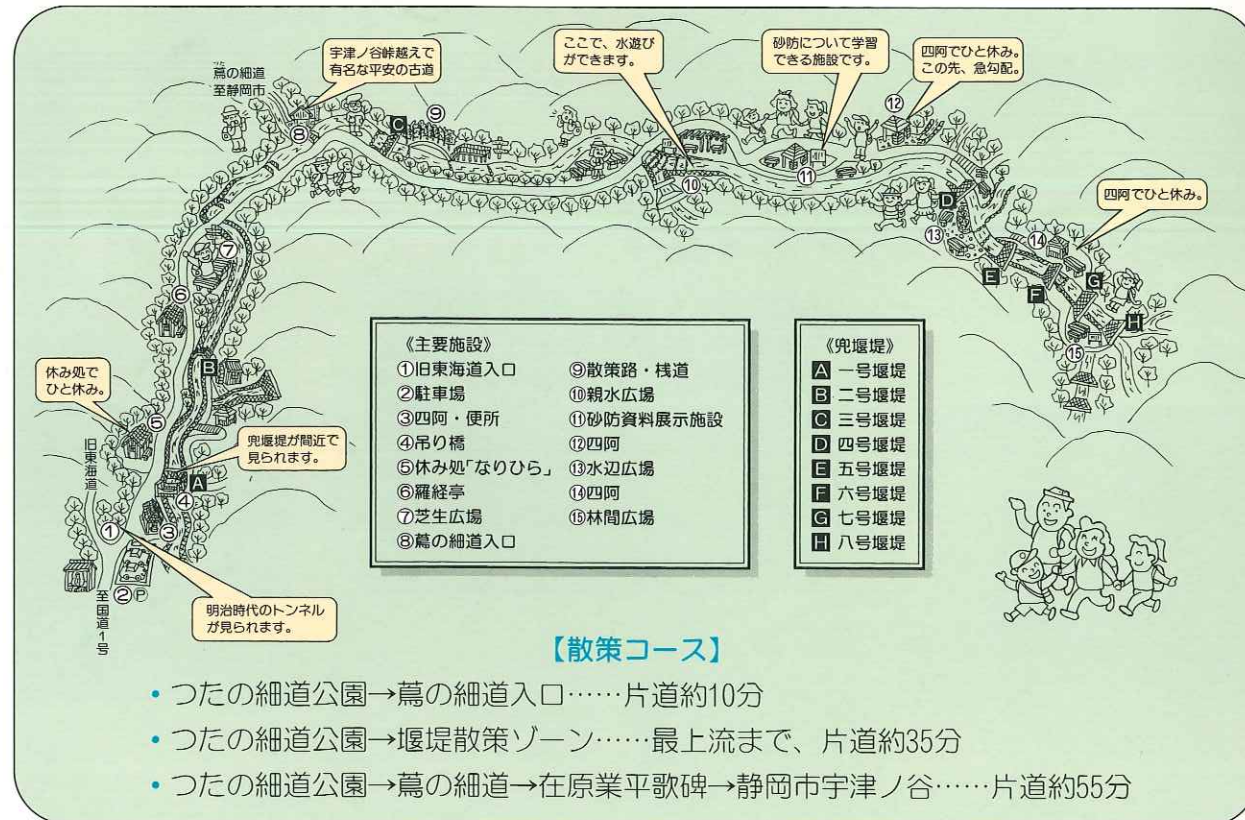
悠久の時を刻む兎堰堤

【交通案内】

- ・東名静岡インターから車で20分
(国道1号經由宇津ノ谷トンネル後)
- ・東名焼津インターから車で15分
(国道1号經由宇津ノ谷トンネル前)
- ・藤枝駅からバスで約40分「坂下」下車
徒歩15分



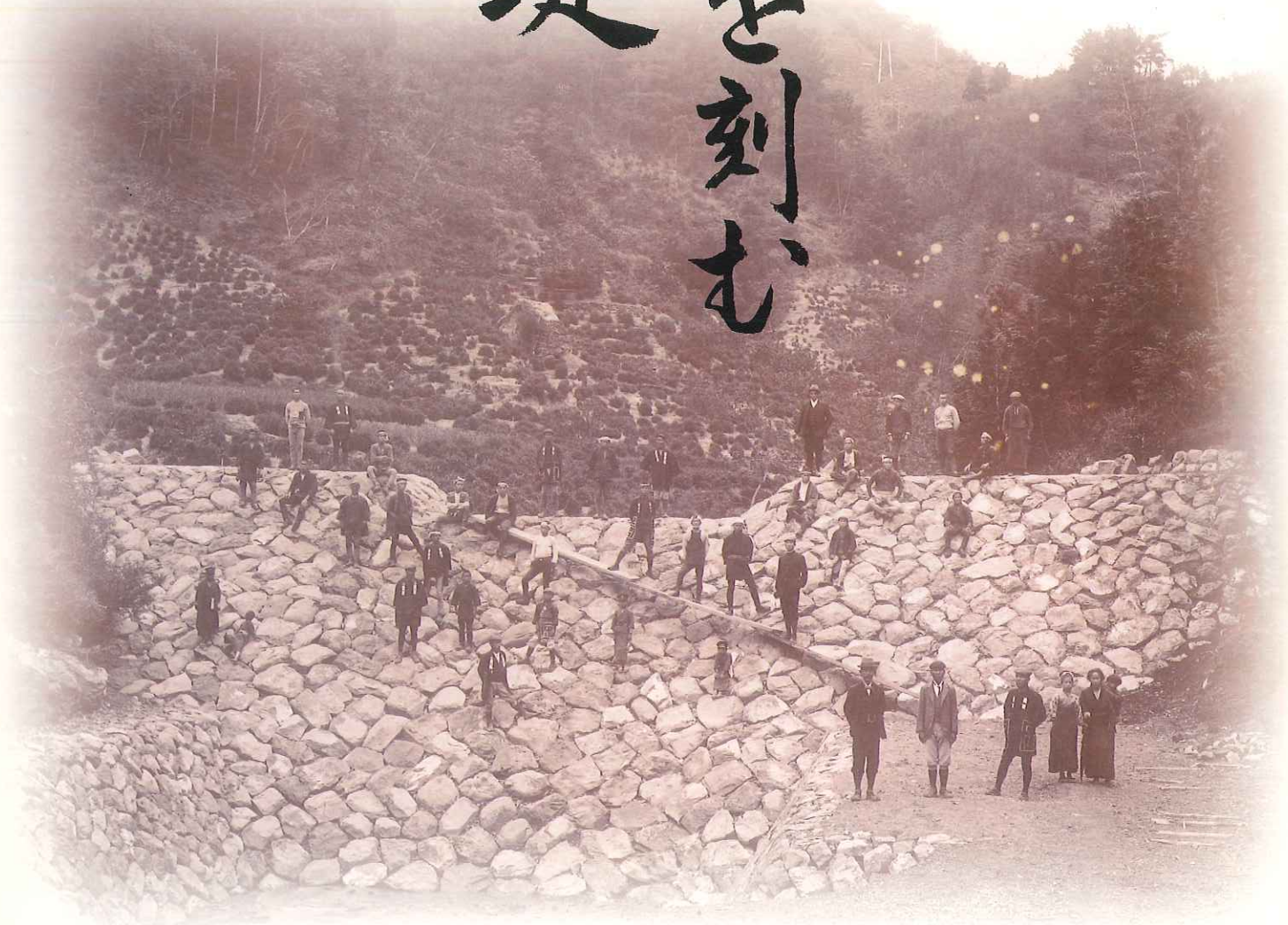
悠久の時を刻む 兎堰堤



【お問い合わせ先】

静岡県島田土木事務所 岡部町建設課
〒427-0019 静岡県島田市道悦5丁目7番1号 〒421-1121 静岡県志太郡岡部町岡部6-1
TEL 0547-37-1086 (工事第二課) TEL 054-667-3421 (建設課)

※ 表紙：明治44年度工事 志太郡岡部町字木和田第一回砂防工事撮影



悠久の時間を刻む兜堰堤

《木和田川砂防環境整備事業》

●事業の概要

『木和田川砂防環境整備事業』は、訪れる人々に憩いと安らぎの場を提供するとともに、砂防事業に関する啓発を図るため、木和田川周辺を「砂防学習ゾーン」として整備することを目的とした事業です。

木和田川には、明治から大正の初めにかけて建設された歴史的価値を有する8基の石張り（兜）堰堤があることから、これらの保存と利用を図りつつ、新たな砂防施設及び、その周辺整備を施すことにより、土砂災害の防止機能を高めるとともに、自然環境を保全・育成するための整備を行いました。

なお、本事業は、地元岡部町により並行して進められた、『つたの細道公園整備事業』と一体となりながら実施しました。

事業名……木和田川砂防環境整備事業

事業箇所……（二）瀬戸川水系岡部川支川

木和田川

施工位置……静岡県志太郡岡部町木和田地先

工種……流路工・園路工・広場工など

全体金額……4億2,800万円

施工年度……平成7年度～平成11年度

事業者……静岡県



事業名……つたの細道公園整備事業

事業箇所……（二）瀬戸川水系岡部川支川

木和田川

施工位置……静岡県志太郡岡部町木和田地先

工種……園路工・広場工・植栽工など

全体金額……4億1,780万円

施工年度……平成2年度～平成8年度

事業者……岡部町



兜堰堤

石を積んで造られた“兜堰堤”の大部分は、補修を行いながら80年以上たった現在でも、当時の姿のままでその機能を発揮しています。

この8基の堰堤は、下流より一号堰堤、二号堰堤……と呼ばれています。

《木和田川周辺における砂防工事》

志太郡一帯の山地では、明治43年8月の記録的な豪雨のため、1,200箇所を超える山地崩壊が発生し、下流部の平野も未曾有の大災害に見舞われました。

そのため、翌44年1月に、静岡県の依頼により東京大学の横山又次郎博士による調査が行われ、その報告によると、崩壊の性質は、山腹の厚い表土が水を吸って重さを増したため、斜面が平衡状態を失い大きな塊となって脱落したというものでした。

そうした中で、当時の岡部町長であった桑原徳太郎氏と静岡県参事員（現在の県議会議員）仁科梅太郎氏の働きかけにより、明治45年2月から大正3年にかけ砂防工事が行われました。

工事は、荒れた川原に大石を台形に積み上げるというもので、やがて裏側へ土砂が詰まって今の形になりました。この工法は、オランダ人技師ヨハネス・デレーケが日本へ伝えたもので、その形から「兜堰堤」と呼ばれています。



写真：明治44年度志太郡岡部町宇津ノ谷砂防工事撮影

木和田川周辺の状況

木和田川における兜堰堤をはじめ、周辺には、時代とともに変遷する街道（葛の細道、旧東海道、明治トンネル、旧国道1号、現国道1号）が見られるほか、在原業平の歌碑や宇津ノ谷集落、羅経記碑文、猫石、道の駅として整備された「宇津ノ谷峠」などがあり、多くのハイカーが訪れています。

●葛の細道

平安時代から室町時代まで利用された官道（現在の国道）のことで、「宇津の山越え」として、平安後期から鎌倉・室町時代頃の歌や物語に頻繁に登場しています。

●在原業平の歌碑

今から約1,100年前、「伊勢物語」（平安前期の歌物語）で在原業平（825～880年）が、東下りの途中で葛の細道を通った際に詠んだと言われる歌です。

●宇津ノ谷集落

岡部宿と丸子宿の間に位置し、往来する旅人が休憩した集落で、当時の立場茶屋であったお羽織屋や歴史的なまちなみが残っています。

●旧東海道

天正8年、豊臣秀吉が小田原征伐の際造ったと言われ、参勤交代の各大名や旅人が明治初期まで利用していました。

●明治のトンネル

明治初期に完成した赤レンガのトンネルで、日本初の銭取り（有料）トンネルとして有名です。

